

自家消費型太陽光発電サービスにおける株式会社山善との業務提携について
～共同ブランド「DayZ Power」を立ち上げ、サービスを拡大～

2021年10月11日
大阪ガス株式会社
Daigas エナジー株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原正隆、本社：大阪市中央区）の100%子会社のDaigas エナジー株式会社（社長：井上雅之、本社：大阪市中央区、以下「Daigas エナジー」）は、自家消費型太陽光発電サービスを中心とするエネルギー関連サービスをより多くのお客さまにお届けするため、株式会社山善（社長：長尾雄次、本社：大阪市西区、以下「山善」）と、本日、業務提携契約を締結しました。

Daigas エナジーは、2020年6月から法人向けの自家消費型太陽光発電サービス「D-Solar」^{*1}の提供を開始し、お客さまのCO2排出量削減とBCP対策強化の実現に貢献してきました。

この度、山善とDaigas エナジーは、「D-Solar」と同様の自家消費型太陽光発電サービスの共同ブランド「DayZ Power（デイズパワー）」を立ち上げ、更なるサービス拡大を目指します。山善が同社のお客さまや取引先を中心に提案を行い、Daigas エナジーは太陽光発電システムのエンジニアリングや維持管理、電力料金の請求業務などを行います。

山善は、「生産材」と「消費財」の専門商社として、生産現場の自動化提案、脱炭素社会へ向けた省エネ事業の推進、生活者のニーズを具現化した商品の開発など、変化する時代に対応したソリューションを様々な分野で提供しています。2008年より「グリーンボールプロジェクト」をスタートし環境優良商品の普及・拡大に努めるなど、いち早く環境ビジネスに取り組んできました。

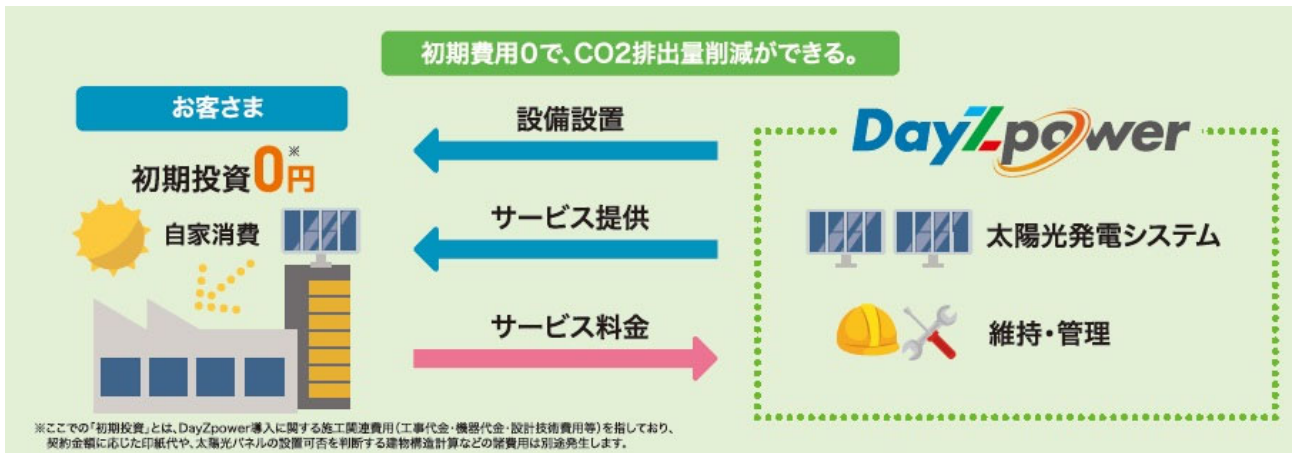
Daigas グループは、2021年1月に「Daigas グループ カーボンニュートラルビジョン」を発表し、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年度までに自社開発や保有に加えて、他社からの調達も含めて、国内外で500万kW^{*2}の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電源の普及に貢献するとともに、国内電力事業における再エネ比率を50%程度^{*2}にすることを目指しています。

Daigas エナジーと山善は、2024年度末までに「DayZ Power」による太陽光発電の導入容量10万kWを目指します。より多くのお客さまに「DayZ Power」をご採用いただくことで、お客さまの課題を解決するとともに、社会課題の脱炭素社会への貢献に取り組んでまいります。

(*1)：お客さまのCO2排出量削減とBCP対策強化を初期投資ゼロで実現する自家消費型太陽光発電サービス。
お客さまの施設の屋根にDaigas エナジーが太陽光発電システムを設置し、発電した電力をお客さまへ供給します。太陽光発電システムの発電量に応じて、お客さまからDaigas エナジーに月々のサービス料金をお支払いいただきます。

(*2)：再エネには、太陽光、風力、バイオマスなどの固定価格買取（FIT）制度の適用電源を含みます。

【DayZpower（デイズパワー）の共同事業スキーム図】



以上